

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は、2011年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習について

- (1) 練習はプログラム記載の指定された会場で、使用日程に従い実施すること。
- (2) 練習は競技役員の指示に従って実施すること。特に投てき練習については、監督の付き添いのもと、危険防止に努めること。
- (3) 小学生・中学生・高校生4×100mRに出場する競技者の練習場は、レクリエーション広場と北陸上競技場（小学生の北陸上競技場での練習は禁止）とするが、練習会場の注意事項を守り、安全面に十分配慮すること。ただし、雨天走路は雨天の場合も使用できない。

3 招集について

- (1) 招集所は、本競技場の北側出入口外側テント（100mスタート地点付近の外側）に設ける。
- (2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻（移動開始時刻）は、プログラムの競技日程欄に記載されている。
- (3) 招集の方法については次のとおりである。
 - ①招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際ナンバーカード・スパイクピン・商標の点検を受ける。トラック競技のみ腰ナンバー標識（ビブス）2枚を受け取る。
 - ②携帯電話等、競技規則144条2（b）に関わる機器を持ち込んでいないか確認を受ける。
 - ③代理人による最終点呼は認めない。2種目同時に出場する競技者は、1種目目招集時にあらかじめその旨を本人もしくは代理人が、正面スタンド中央階段前テントに設置された競技者案内所（TIC）で用意した「2種目同時出場届」に記入し、招集所（競技者係）へ提出し、指示に従う。
 - ④招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなして処理する。
 - ⑤リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の60分前までに招集所（競技者係）に提出すること。オーダー用紙は競技者案内所（TIC）に用意する。

4 ナンバーカード（ビブス）・IDカード・プログラムについて

- (1) ナンバーカード（ビブス）は3枚（胸・背・手荷物用）配布する。（競技規則143条7・8を厳守）
- (2) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識（ビブス）2枚を招集時に配布する。
- (3) ナンバーカード（ビブス）とプログラム・IDカードの配布は、競技者案内所（TIC）で、次の時間帯に行う。

◆20日(木)	12:00~17:00
◆21日(金)、22日(土)	8:00~17:00
◆23日(日)	8:00~12:00

コーチIDカードは、参加者1~2名は1枚、3~5名は2枚、6~9名は3枚、10名以上は4枚を配布する。ただし、小学生のコーチIDは配布しない。

5 競技場への入退場について

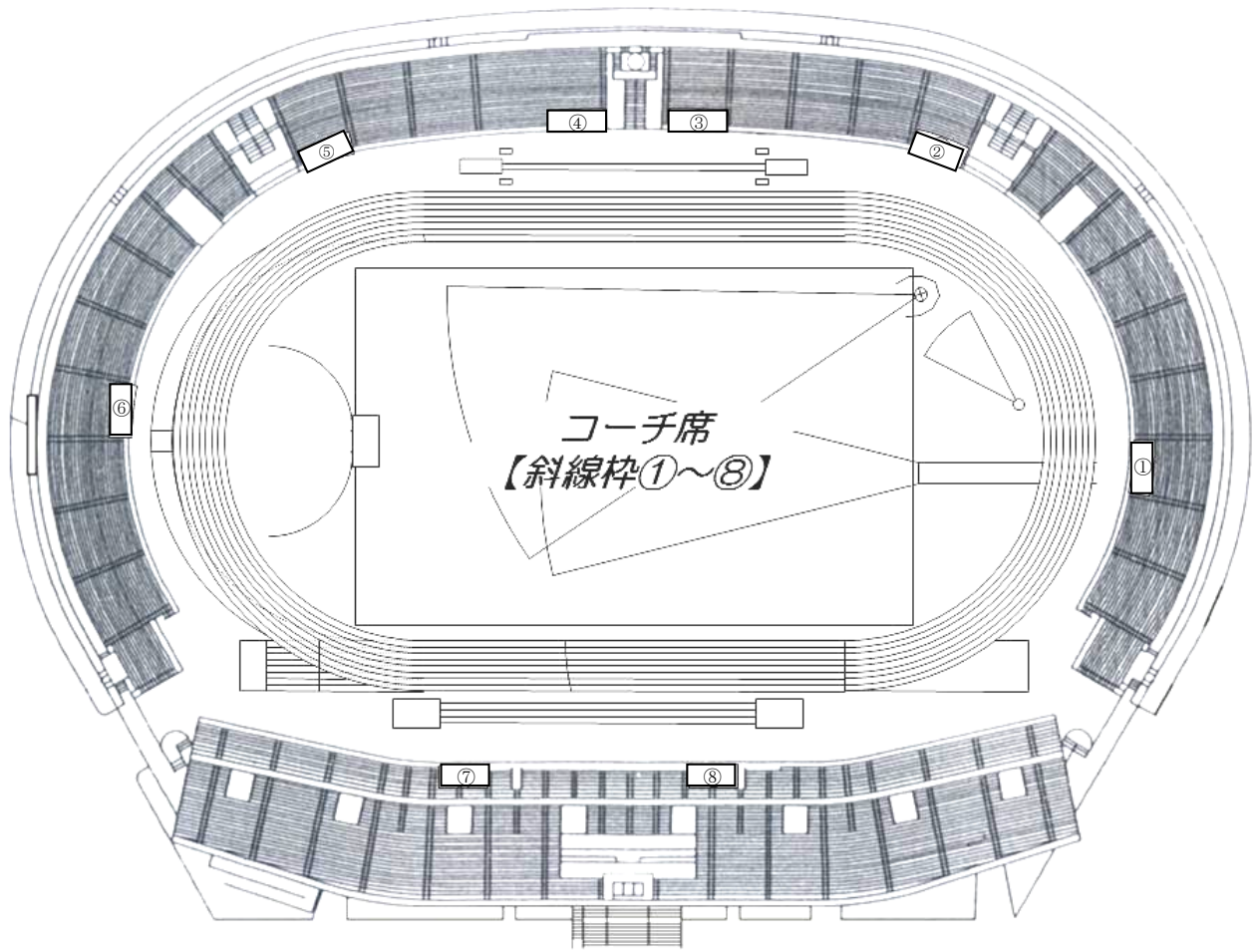
- (1) 競技場の入退場は、すべて係員の誘導により行う。
- (2) 競技終了後は、競技役員の指示に従い、ミックスゾーンを通過して退場する。
- (3) トラック競技出場者の衣類は、フィニッシュ地点付近に搬送する。ただし、リレー種目は第4走者の衣類のみ搬送する。
- (4) 競技終了後、第1位から第8位までの入賞者は、係が入賞者控席まで誘導する。

6 番組編成について(レーン順・試技順)

- (1) トラック競技の予選のレーン順、フィールド競技試技順は、プログラム記載の番号順とする。
- (2) トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及びレーン順は、アナウンス及び大型ビジョンで紹介し、正面スタンド中央階段を上がったところに設置された番組編成板に掲示する。
- (3) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、同記録がありレーン数が不足する時の処置は、より細かくタイムを判定して出場者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。
(競技規則第167条)

7 競技について

- (1) トラック競技について
 - ① トラック競技の計時は、全て写真判定装置を使用する。
 - ② レーンで行うトラック競技では、欠場者のレーンは空ける。
 - ③ 短距離種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走る。
 - ④ 競技規則162条6・7により、不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。
 - ⑤ スタートの合図は英語とする。(「オン・ユア・マークス」、「セット」)
- (2) フィールド競技について
 - ① 競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
 - ② 投てき競技の計測は、砲丸投を除き、光波測定器を使用する。
 - ③ 跳躍、やり投の競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。サークルから行う投てき競技は、マーカーを1つだけ使用することができる。
 - ④ 棒高跳の競技者は、招集開始時に「棒高跳支柱移動届」を競技者案内所(TIC)で受け取り、自分の希望する支柱の位置を記入し、招集所(競技者係)に提出すること。また、その位置を変更したいときは、棒高跳審判員に申し出ること。
 - ⑤ フィールド競技が行われる近接のスタンドに「コーチ席」を設ける。選手への助言は、このエリアからも行うことができる。競技運営上、支障がある場所からの助言は、制限することができる。
 - ⑥ 三段跳の踏切板は、砂場から男子13m、女子10mの地点に設置する。
 - ⑦ 各フィールド競技種目の競技開始後は、原則としてその競技場所は変更しない。
ただし、棒高跳については天候により審判長が危険と判断した場合は競技場所の変更や競技日の延期をする場合がある。競技日の延期に伴う出場者の経費は参加者各自の負担とする。
- (3) 抗議は、競技規則146条によって定められた時間内に、競技者自身もしくは代理人が、競技者案内所(TIC)を通じて審判長に対して口頭で行い、控え室で待機する。さらに、審判長裁定に不満の場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通じて上訴審判員に「抗議申立書」で申し出る。
「抗議申立書」の用紙は、競技者案内所(TIC)に用意する。
- (4) 競技者は、勝手に競技場所を離れること、ビデオ装置・カセットレコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することができない。(競技規則144条2(b)) 競技場内に持ち込まれるバッグの中身は招集所で確認される。
- (5) 上記を含む不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。
警告は黄色のカード、除外は赤のカードを示すことによって競技者に知らされる。
- (6) 棄権する場合は、「棄権届」を招集開始時刻までに招集所(競技者係)に提出する。「棄権届」の用紙は、競技者案内所(TIC)に用意する。



8 走高跳・棒高跳について

(1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする（ただし、天候などの状況により変更することもある）。

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	以降
男子走高跳	ジュニア	1m90 2m05	1m95	2m00	2m03	2m06	2m09	2m12	以後優勝者が決まる まで3cmずつ上げる。
	ユース	1m85 2m00	1m90	1m95	1m98	2m01	2m04	2m07	
女子走高跳	ジュニア	1m55 1m70	1m60	1m65	1m68	1m71	1m74	1m77	
	ユース	1m50 1m65	1m55	1m60	1m63	1m66	1m69	1m72	
男子棒高跳	ジュニア	4m60 5m00	4m70	4m80	4m90	5m00	5m05	5m10	以後優勝者が決まる まで5cmずつ上げる。
	ユース	4m50 4m90	4m60	4m70	4m80	4m90	5m00	5m05	
女子棒高跳	ジュニア	3m20 3m50	3m30	3m40	3m50	3m60	3m70	3m80	
	ユース	3m00 3m30	3m10	3m20	3m30	3m40	3m50	3m60	

9 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、棒高跳用ポール以外はすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、やり・円盤・ハンマーについては、競技場がないもの、もしくは1つしかないものに限り、検査を受け使用することを許可する。また検査に合格した用器具は、預り証を発行のうえ一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。なお、用器具は競技終了後に南器具庫で預り証と引き換えに返却する。
- (2) 持ち込む投てき用器具の検査は、競技開始90分前から60分前の間、南器具庫前で行う。
- (3) ハードルの高さは、次のとおりとする。

	ジュニア男子	ユース男子	ジュニア女子	ユース女子
110mH	1.067m	0.991m		
100mH			0.838m	0.838m
400mH	0.914m	0.914m	0.762m	0.762m

- (4) 投てきの重量は、次のとおりとする。

	ジュニア男子	ユース男子	ジュニア女子	ユース女子
砲丸	6.0kg	6.0kg	4.0kg	4.0kg
円盤	1.75kg	1.75kg	1.0kg	1.0kg
ハンマー	6.0kg	6.0kg	4.0kg	4.0kg
やり	800g	800g	600g	600g

10 競技用靴について（競技規則143条 2・3・4・5・6参照）

スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合も本数は11本以内とし、先端が鋭利なものは使用できない。

11 表彰について

- (1) 各種目の優勝者には賞状と選手権獲得章を、第2・3位には賞状とメダルを、第4位から第8位までに賞状を、それぞれ授与する。ただし、外国籍競技者はオープン参加とし、その競技者が入賞しても、日本国籍競技者の順位を繰り上げて表彰する。
- (2) 各種目第8位までの入賞者は、正面スタンド前表彰台で表彰を行う。
- (3) 日本ジュニア優秀選手（男女各1名）にJOCジュニアオリンピックカップを贈る。

12 ドーピングコントロールテストについて

ドーピングコントロールテストは、IAAFの規則に従って実施する。ドーピングコントロールテストを指示された競技者は、競技役員の誘導によりドーピング検査室で検査を受けなければならない。その際、テストを受ける競技者は、付き添いをつけることができるので、付き添い者を希望する競技者は付き添い者の連絡先（携帯電話番号など）を事前に準備しておくこと。

13 開門時間

10月21日（金）～23日（日）の3日間とも以下の時間に開門する。

駐車場	6:30～
瑞穂陸上競技場（本陸）	7:00～
瑞穂北陸上競技場（北陸）	7:30～

14 一般的注意事項

- (1) 商標等の規則については、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に違反したものについて、主催者で措置する。
 - ① ベスト・レオタード
 - a 製造会社名に関して
 - ベスト：製造会社名／ロゴをベストの前に1カ所表示できる。その大きさは、各文字が高さ4cm以内、トータルロゴの高さは5cm以内で、面積30cm²以内の長方形とする。
 - レオタード：製造会社名／ロゴの表示は以下のいずれかとする。
 - セパレートタイプ
レオタードの前に1カ所表示することができる。その大きさは、各文字が高さ4cm以内トータルロゴの高さは5cm以内で、面積30cm²以内の長方形とする。
 - ワンピースタイプ
レオタードの前に2カ所表示できる。ウエストより上部、下部にそれぞれ1カ所とするが、それぞれの表示が隣接してはならない。その大きさはそれぞれ文字の高さ3cm以内、トータルロゴの高さ4cm以内で、面積は20cm²以内の長方形とする。
 - b クラブ名、クラブスポンサー名／ロゴまたはクラブロゴに関して
いずれか1つをベストまたはレオタードの前側に表示することができる。文字の高さは4cm以内（ロゴが含まれている場合は高さ5cm以内）の長方形とするが、クラブロゴは面積40cm²以内とする。クラブ名は、ベストの背部につけることができる。その文字の高さは4cm以内とするが、長さの制限は設けない。
 - c その他
競技中に衣類を2枚重ねて着用（例：ベストの下にTシャツを着用/ショーツの下にタイツを着用）し、下の衣類が露出している場合、下の衣類は無地でなければならない。
 - ② トップス、トレーニングウェア上衣、Tシャツ、トレーナー、レインジャケット
製造会社名／ロゴを衣類の前（右胸か左胸）に1カ所表示できる。その大きさは、各文字が高さ4cm以内、トータルロゴの高さは5cm以内で面積40cm²以内の長方形とする。
 - ③ 下半身の衣類（ショーツ・タイツ・ソックス等）
製造会社名／ロゴを1カ所表示することができる。高さ4cm以内、面積20cm²以内とする。ただし、ソックスは3cm以内、面積6cm²とする。
 - ④ その他の衣類
ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、メガネ、サングラス、リストバンドなどの製造会社名及びロゴは、衣類（製品）1つにつき1カ所表示することができる。面積は6cm²以内とする。
 - ⑤ バッグ類
製造会社名／ロゴは、各バッグ2カ所まで表示することができる。それぞれの表示の大きさは25cm²以内とする。
- (2) 応急処置をする場合、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。競技場での疾病・傷害応急処置は主催者で行うが、以後の責任は一切負わない。
- (3) IDカードを携帯しない者は、競技場内に立ち入ることはできない。
- (4) 横断幕、応援用のぼり等はバックスタンドの最上部のみ掲出を認めるが、通路をふさぐ取り付けは禁止する。横断幕（学校名のみ）は、各チーム1つとする。
- (5) 公道上に各団体のテントを設営することを禁止する。また、テントはその日毎に必ず撤去すること。
- (6) 競技場内のシートは、その日毎に撤去する必要はない。ただし10月20日（木）は持ち帰ること。
- (7) 雨天走路の横断は禁止する。また、選手とコーチ以外は立ち入らないこと。
（ただし、選手・コーチはIDカードが必要）
- (8) 貴重品の管理は、各自で責任を持って行う。拾得物は、総合案内所で保管する。
- (9) すべてのスタートリストとリザルトは、記録掲示板に掲示する。
- (10) 「記録証明書」を希望する競技者は、競技終了後30分以内に競技者案内所（TIC）に500円を添えて申し込むこと。後日、送付する。（当日の発行はしない）

- (11) 棒高跳用ポール・やりの返送及び宅配物については、本競技場前トラベルデスクのテントで受け付ける。
- (12) 競技者・監督(コーチ)及びサブイベントのリレー(中・高)の競技者・監督(コーチ)には、受付時にIDカードが渡される。IDカード使用者は場内を移動する場合、必ず確認できるように携帯する。ただし、各入口の制限を確認すること。小学生のIDカードは配布しない。

◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

※保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。

※撮影を許可するエリアは、スタンドの指定された区域のみとします。禁止された区域での撮影はできません。その他にも、以下の場合の撮影を禁止します。

- ・選手がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っていたりしている間や、身体を動かしているなどの準備を行っている時。

※また他者に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。

	提出書類	用紙所在場所	用紙提出場所	提出時間
1	棄権届	競技者案内所(TIC)	招集所	招集開始時刻まで
2	2種目同時出場届	競技者案内所(TIC)	招集所	1種目目招集時
3	棒高跳支柱移動届	競技者案内所(TIC)	招集所	招集開始時刻
4	記録証明書交付願	競技者案内所(TIC)	競技者案内所(TIC)	競技終了後30分まで
5	リレーオーダー用紙	競技者案内所(TIC)	招集所	招集完了時刻60分前まで
6	抗議申立書	競技者案内所(TIC)	担当総務員	競技規則で定められた時間
7	投てき器具借用証明書	競技者案内所(TIC)	南器具庫	競技開始90分前から60分前まで